

## 三 鈷 の 松



二 葉    三 葉



五 葉



独鈷・三鈷・五鈷

### 三鈷の松 (三葉の松)

松の葉っぱは通常二葉ですが、この松葉は写真様に三葉です。[三鈷の松]というのは、松葉が三本になっている松のことで、高野山の三鈷の松は有名です。成田山でも見る事が出来ます。

「三葉の松」は全国でも珍しくその姿から「夫婦和楽・家内安全」を象徴して、その松葉は黄金色になって落葉し、身につけると「金運」のご利益があるところから別名「金銭松」ともいわれています。

松は普通二葉か五葉ですが、日本でもまれに三葉の松(三鈷の松)があります。ほとんどが神社か仏閣に植えられております。日本では樹高は一般の黒松より大きくはなりません。その三葉が仏具の三鈷に似ているところから、その密教呪術的な様子が感じられ、その効能と名前になったものと思われています。

白峯神宮では『心願成就』のお守りに「三葉の松」をあしらってその意味を込めています。

### 高 野 山 (総本山金剛峯寺) こんごうぶじ 和歌山県高野町

【弘法大師が唐(中国)よりお帰りになられる時に、密教法具の三鈷杵を日本に向けて投げられました。「日本で密教を広めるために先に飛んで行ってその道場を教えておくれ。」このような願いが込められた三鈷杵は、海を越えて消えてゆきました。日本に帰られたお大師さまは三鈷杵の落ちた地を求め歩きました。そして狩人(狩場明神)と白と黒の2匹の犬に道案内で高野山に登り、三鈷杵と出会いました。そこでこの地を真言密教の道場として大伽藍をお創りになることを決められました。

「三鈷の松」の伝説はお大師さまと明神さま、そして高野山との出会いがあります。

成田山平和の大塔二階明王殿には、「弘法大師の行状図」としてこの様子が描かれています。

和名：サンヨウノマツ・サンコノマツ (マツ科マツ属) 学名 *Pinus Bungeana* Zucc

アメリカには三葉の松もあります。日本に植栽されているものではリギダマツ、テーダマツなどがあります。



金剛峯寺の三鈷の松



成田山の三鈷の松 (釈迦堂裏にあり)